

令和7年度第1回下野市在宅医療・介護連携推進協議会 議事録

日 時：令和7年6月4日（水） 午後7時00分～午後8時25分まで

会 場：下野市役所 3階 303・304会議室

出席者：別紙名簿のとおり

市側出席者：別紙名簿のとおり

傍聴者：なし

議事録（概要）作成日：令和7年6月16日（月）

1. 開 会（大口課長）

2. あいさつ（荻原部長）

高齢化の進行（2043年頃に高齢者人口ピーク、3人に1人が65歳以上）と、在宅医療・介護のニーズの高まりについて。

3. 自己紹介

4. 正副会長選出

委員の互選により、会長に佐藤委員（小山医師会）、副会長に野口委員（居宅介護支援事業所）を選出。

あいさつ

国の医療費削減方針と病床削減による在宅医療への移行の必要性が叫ばれているため、当協議会でも検討し下野市の在宅医療介護が良い方向に向かっていければと考える。

5. 協議事項

(1) 令和6年度 在宅医療・介護連携推進事業実績報告について

資料1

【質疑等】

なし

(2) 令和7年度 在宅医療・介護連携推進事業計画について

資料2

【質疑等】

鶴岡委員：市民向けの認知症講演会でオレンジランプの上映会となっているが、具体的な内容について聞きたい。

事務局：グリムの館での実施は決まっているが、詳細については検討中。

鶴岡委員：オレンジランプのモデルになっている丹野さんや、プロデューサーの山国さんをお呼びしての講演会を検討してはどうか。

事務局：ご意見ありがとうございます。

佐藤委員：研修会の案内が2週間前で日程の調整が難しかった。早めの案内をお願いしたい。

事務局：申し訳ありませんでした。今年度は早めに案内をお送りします。

佐藤会長：鶴岡先生が委員長をしている、小山医師会の在宅医療介護連携推進認知症対策委員会にて年に数回、市民向けの講演会や医師向けの勉強会を実施している。そこでも ACP について講演会を実施予定だと思う。

鶴岡委員：今年度は下野市で実施予定。学びになると思うため多くの方に来て欲しい。下野市と協賛で開催したい。市からも周知をお願いしたい。

事務局：今後相談させていただきたい。

佐藤会長：職種研修会のカスタマーハラスメントは非常に良いテーマだと思う。

野口副会長：障害者の相談支援員事業所にも声をかけようと思っている。事業所としても年 1 回研修を実施しなければならない。ケアマネージャーが 1 人の事業所もあるため、会で研修を実施している。事前のご連絡があれば、皆様の参加も可能。

講師の都合で 9 月 16 日 13：30～ゆうゆう館にて実施予定。

鶴岡委員：研修会にはぜひ参加したい。また、日本在宅医療連合学会に所属しており、秋ごろに宇都宮にて地域フォーラムを実施予定。そこでもハラスメント「すぐそこにある危機、地域でどう考えるか」と、災害をテーマに考えている。

野口副会長：ケアマネージャー連絡会にて、実施の義務があるため他にも研修会を実施する予定。安全安心課の職員を講師に招き「災害について」、社会福祉士会に依頼し「虐待について」、県南健康福祉センターへ依頼し「難病の方が在宅で利用できるサービスなど具体的な内容」を講義していただく予定。

佐藤会長：市民向け講演会にて、認知度をあげるために理学療法士について話したいなど希望はあるか。

若菜委員：リハビリ専門職として市民に知っていただきたい希望はある。

事務局：検討したい。

(3) 令和 7 年度下野市在宅医療・介護連携推進事業実施状況及び課題管理シート について

資料 3～資料 6

【質疑等】

佐藤会長：市の目指す姿・課題・現状を見えやすい形でまとめたもの。1 年ですべての課題を解決することは難しいため、優先順位を決めながら 1 つずつ取り組んでいく。

また、行政だけでなく医療や介護の事業所の方々と相談しながら、共通認識をもって進めてきたい。

野口副会長：入退院の連携については、市外の病院とも調整をすることがあるが、連携が難しい場合が多い。それをこの協議会だけで検討するのは難しいのではないかと。

佐藤会長：小山地区医師会にて救急医療体制について検討会を開催し、健康増進課が出席予定。高齢福祉課へも案内を送付するか検討する。

事務局：県内他市町でも同様のシートを作成している。他市町でも課題として検討していくことで、県内全体で調整しやすくなるのではないかと。県から他市町の課題シートについてフィードバックがあった際には確認しお知らせしたい。

佐藤会長：県内全市町で行っているのであれば、認識が広がり連携しやすい環境になっていくと良い。

阿久津委員：サービスの情報を知らないという部分については、周知が大切だと感じた。

小松崎委員：Sナビや認知症ガイドブックなどを病院内でも活用していきたい。

伊沢委員：薬剤について分からないことや困っていることなどを、相談してもらえると対応しやすい。

江連委員：エンディングノートは市に準備されているのか。もっと市民にも浸透していくとよいと思う。

認知症サポーター養成講座を受講したが、ステップアップ講座も受講したい。必要な知識であるため、随時行っていきたい。

患者さんとの付き合いの中で変化に気づき、相談先などの紹介をしている。

また、歯科医として協力できることは、やっていきたいと思う。

土肥委員：歯科医全員が行っているとは言えないが、変化に気づくことはある。その気づきから早期対応につながれると患者さんのためにも良いのではないか。

佐藤会長：良い取り組みであるため、歯科医の中で広がっていくよう勉強会等検討して欲しい。

有田委員：「このようなサービスがあるなら早く使いたかった。」等の声を利用者から聞くことがあり、周知していかなければと感じる。

須藤委員：精神科に勤務している。高齢化が進んでおり、退院を希望しても家族の理解や地域やサービスの情報を知らない等で進まない。サービス等について更なる周知が必要と感じた。

令和7年度の事業計画の中には、すべての事業が記載されているという認識でよろしいか。

事務局：在宅医療・介護推進事業だけで課題の解決は難しいため、介護予防や地域リハビリテーション事業などを課題解決のために連携して実施している。

須藤委員：リハビリ職の中でも連携や横のつながりが十分でなく、このような事業に携わってない方や興味のある方がいると思う。そのような方にも知るきっかけがあるといいと感じた。

中嶋委員：去年も参加していたが、以前より連携が図れてきていると感じる。入院時にケアマネージャーより情報をいただき、退院時には病院からも情報共有している。会議に参加し、お互いのことを知っていくことで、良い方向に進んでいると感じている。

田嶋委員：初めて参加。歯科衛生士は単独で動くのではなく、歯科医の指示のもとで動くことが多い。このような会議に参加し、どう動けば（患者にとって）一番良いのか・歯科医師に意見して良いのか・ケアマネージャーのどんな情報が伝えられるか等考えた。自宅や施設の方のところに行きケアを行っているが、会議参加を機に勉強し歯科医師と協力しながら良い方向に進められるようにしていきたい。

また、Sナビはとても見やすいと感じた。市民にも浸透していくと良いと感じた。

早乙女委員：初めての参加。Sナビは市民にも知ってもらえると良いと感じた。会議に参加し多職種の方と意見交換や、勉強をしていきたいと思う。

鈴木委員：様々な事業を行っていると感じた。特別養護老人ホームだけでなくデイサービス・居宅支援事業所もあるため参加させていただきありがたい。

特別養護老人ホームに関しては、入居者が受診・入院する際に受け入れてくれる病院

がなかなかない。病院との提携が義務化され、地域の病院で受け入れてくれるのはありがたい。

野口委員からも話があったように、急変し救急車を依頼した際に搬送先がスムーズに決まらないことが多く、市外になってしまうこともある。

高齢者や行政だけの問題ではないため、すべてが解決されるわけではないと思うが、そこをどう対応していくかが課題と考えている。

小川委員：包括支援センターで日々支援を行っているが、サービス等の情報を知らない方が多い。そのために、Sナビの活用を進めているところだが、高齢者には利用自体が難しいと感じている。

坂本委員：初めての出席。在宅介護と救急は切ってもきれないところだと思う。県南地区は他区域に比べ病院が充実している。しかし、救急側は救急、消防の側は消防の悩みを抱えている。一市だけで対応するのではなく県南地域として、どのように対応していくか検討していくことが必要。同じ圏域でも同様の課題もあれば、様々な意見がある。そのような県南地区の現状を把握するためにもこのような会議への参加を大事にしていきたい。

課題管理シートを確認し、認知症について取り上げているがケアラーについての支援は行っているか。

事務局：家族交流会やオレンジカフェなどを実施し、認知症の本人や家族が参加できるような場所の確保は行っている。コロナ禍を挟み、集まる場は減っている。SNS等でも交流できるため、活発な支援ができているかは分からない。ケアラー支援について先駆的な取り組みがあれば教えてほしい。

坂本委員：他市町も同様の思いで活動していると思う。日常の療養支援の場面では、家族からの支援が難しくなれば高齢者が自宅で生活することができなくなってしまう。そのため、ケアラーに対する支援も検討していかなければいけない。

若菜委員：介護保険のケアプランデータ連携に取り組まれる事業者はあるか伺いたい。実施することで業務の効率化が図れるため、新たな取り組みを実施するための時間を捻出することにつながる。是非検討して欲しい。

佐藤会長：他にご意見がなければ、議事進行を終了とする。委員長の任を解かせていただき、ご協力に感謝したい。

(4) その他

事務局：皆様からいただいたご意見を集約し、今後の事業に活かしていきたい。特にサービスの周知や市としてできること、市と包括で協力しながら実施することについて整理し、今後につながるよう対応していきたい。

第二回の協議会は1月に予定しています。開催の通知を早めにご連絡いたします。

6. 閉会（大口課長）